

反射テスト 統計 確率分布表と期待値 01

1. 1枚の硬貨を3回続けて投げたとき、表の出る回数を X とする。(S級25秒, A級1分20秒, B級3分, C級5分)

(1) 以下の確率分布表をうめよ.

X	0	1	2	3	計
P					1

(2) X の期待値 $E(X)$ を求めよ.

2. サイコロを3回続けて投げたとき、3の倍数の目が出る回数を X とする.

(S 級 50 秒, A 級 1 分 30 秒, B 級 3 分, C 級 5 分)

(1) 以下の確率分布表をうめよ.

X	0	1	2	3	計
P					1

(2) X の期待値 $E(X)$ を求めよ.

反射テスト 統計 確率分布表と期待値 01 解答解説

1. 1枚の硬貨を3回続けて投げたとき、表の出る回数を X とする。(S級25秒, A級1分20秒, B級3分, C級5分)

(1) 以下の確率分布表をうめよ。

X	0	1	2	3	計
P	$\frac{1}{8}$	$\frac{3}{8}$	$\frac{3}{8}$	$\frac{1}{8}$	1

★ 反復試行の確率 確率 p の事象が n 回中 r 回出現する確率は ${}_n C_r p^r (1-p)^{n-r}$

$$P(X=0) = {}_3 C_0 \left(\frac{1}{2}\right)^0 \left(1 - \frac{1}{2}\right)^{3-0} = 1 \cdot 1 \cdot \frac{1}{8} = \frac{1}{8}$$

$$P(X=1) = {}_3 C_1 \left(\frac{1}{2}\right)^1 \left(1 - \frac{1}{2}\right)^{3-1} = 3 \cdot \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{4} = \frac{3}{8}$$

$$P(X=2) = {}_3 C_2 \left(\frac{1}{2}\right)^2 \left(1 - \frac{1}{2}\right)^{3-2} = 3 \cdot \frac{1}{4} \cdot \frac{1}{2} = \frac{3}{8}$$

$$P(X=3) = {}_3 C_3 \left(\frac{1}{2}\right)^3 \left(1 - \frac{1}{2}\right)^{3-3} = 1 \cdot \frac{1}{8} \cdot 1 = \frac{1}{8}$$

★ 確率の表現の例

$$\left\{ \begin{array}{l} P(X = x_k) \quad X \text{ が } 1 \text{ つの値 } x_k \text{ をとる確率.} \\ P(X \leq a) \quad X \text{ の値が } a \text{ 以下である確率.} \\ P(a \leq X \leq b) \quad X \text{ の値が } a \text{ 以上 } b \text{ 以下である確率.} \end{array} \right.$$

★ 確率変数と確率分布表 次の条件を満たす X を **確率変数** という。

X	x_1	x_2	x_3	...	x_n	計
P	p_1	p_2	p_3	...	p_n	1

X の各値 x_k に対して、それが起こる確率を $P(X = x_k)$ で表す。つまり、 $P(X = x_k) = p_k$ と表せば、次が成り立つ。

$$p_1 \geq 0, p_2 \geq 0, \dots, p_n \geq 0 \quad \text{かつ} \quad p_1 + p_2 + \dots + p_n = 1.$$

X と P の関係を表にしたものを **確率分布表** という。

(2) X の期待値 $E(X)$ を求めよ。

$$E(X) = 0 \times \frac{1}{8} + 1 \times \frac{3}{8} + 2 \times \frac{3}{8} + 3 \times \frac{1}{8}$$

$$= 0 + \frac{3}{8} + \frac{6}{8} + \frac{3}{8} = \frac{12}{8} = \frac{3}{2}$$

★ 期待値 (平均) $E(X) = \sum_{k=1}^n \{x_k P(X = x_k)\}$
 $= \sum_{k=1}^n (x_k p_k)$

☆ 確率を人数に例えると、期待値が平均とも言われることをイメージしやすい。

この場合なら、 $X=0$ となる人が $\frac{1}{8}$ 人いると考え、その積0を考える。

$X=1$ となる人は $\frac{3}{8}$ 人だから、その積は $\frac{3}{8}$ 。順にそう考えて、各積の総和をとる。

人数は全部で1人だから、その総和を $\div 1$ したものが平均となる。

☆上の確率分布表の下に各々の積を計算し、和を計算しよう。統計は表を利用すると作業が早い。

X	0	1	2	3	計
P	$\frac{1}{8}$	$\frac{3}{8}$	$\frac{3}{8}$	$\frac{1}{8}$	1
$X \cdot P$	0	$\frac{3}{8}$	$\frac{6}{8}$	$\frac{3}{8}$	$\frac{3}{2}$

☆ 「確率分布が左右対称⇒期待値が真ん中」つまり計算する必要がない。

2. サイコロを3回続けて投げたとき、3の倍数の目が出る回数を X とする。

(S 級 50 秒, A 級 1 分 30 秒, B 級 3 分, C 級 5 分)

(1) 以下の確率分布表をうめよ。

X	0	1	2	3	計
P	$\frac{8}{27}$	$\frac{4}{9}$	$\frac{2}{9}$	$\frac{1}{27}$	1

★ 反復試行の確率 確率 p の事象が n 回中 r 回出現する確率は ${}_n C_r p^r (1-p)^{n-r}$

$$P(X=0) = {}_3 C_0 \left(\frac{1}{3}\right)^0 \left(1 - \frac{1}{3}\right)^{3-0} = 1 \cdot 1 \cdot \frac{8}{27} = \frac{8}{27}$$

$$P(X=1) = {}_3 C_1 \left(\frac{1}{3}\right)^1 \left(1 - \frac{1}{3}\right)^{3-1} = 3 \cdot \frac{1}{3} \cdot \frac{4}{9} = \frac{4}{9}$$

$$P(X=2) = {}_3 C_2 \left(\frac{1}{3}\right)^2 \left(1 - \frac{1}{3}\right)^{3-2} = 3 \cdot \frac{1}{9} \cdot \frac{2}{3} = \frac{2}{9}$$

$$P(X=3) = {}_3 C_3 \left(\frac{1}{3}\right)^3 \left(1 - \frac{1}{3}\right)^{3-3} = 1 \cdot \frac{1}{27} \cdot 1 = \frac{1}{27}$$

☆和が1になるか確かめる癖をつけよう。

(2) X の期待値 $E(X)$ を求めよ。

$$E(X) = 0 \times \frac{8}{27} + 1 \times \frac{4}{9} + 2 \times \frac{2}{9} + 3 \times \frac{1}{27}$$

$$= 0 + \frac{4}{9} + \frac{4}{9} + \frac{1}{9} = 1$$

☆別解 ★統計は表

X	0	1	2	3	計
P	$\frac{8}{27}$	$\frac{4}{9}$	$\frac{2}{9}$	$\frac{1}{27}$	1
$X \cdot P$	0	$\frac{4}{9}$	$\frac{4}{9}$	$\frac{1}{9}$	1

☆期待値の1は3回投げたら1回起こることを表す。まさに期待される値(回数)である。

確率 $\frac{1}{3}$ であれば、3回の試行中1回起こることと同義。 $E(X) = 3 \times \frac{1}{3} = 1$ と考えれば早い。